

第 58 回全国学童保育研究集会（20231104~20231105）レポート

【クラブ】（ あおぞらクラブ ）

【名 前】（ 筧 由衣 ）

① 2 日目に参加した分科会のタイトルをお書きください。

第（ 10 ）分科会 （ 安心して関係を築ける人数に「40 人以下」の実現を考える ）

※全体会のみに参加の場合は、全体会の記念講演のタイトルをお書きください。

② この分科会を選んだ理由をお書きください。

あおぞらの登録人数が年々10~15人ずつ程増えていることや、GPAを担当する保護者さんからの分割の提案があったこと、なによりも、日々、70~80人という多くの子どもたちと関わる中で、（おおむね40人が大切なのはわかっているけれど…）40人以下ならできる、40人以下じゃないからできない、という理由であおぞらの運営方法を決めたり、イベントを決めたり、子どもとの関わり方を変えてしまったりすることなく奮闘していくための引き出しを増やしたいと思い、この分科会を選びました。

③ 2日間の全体会と分科会で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

指導員として、あおぞらが大人気で悩むことがたくさんあったり、子どもたちは、人数の多さでもおもしろい遊び場所、遊びたい内容を我慢していたりするだろうなと感じることが日々あります。しかし、そんな毎日の中で私は、子どもたちが自分たちで考えて、「〇〇するためにはどうしよう？」「指導員に相談したら、この遊びできるかな？」「場所やおもちゃを貸してって声をかけてみよう」と考えてみたり、「ケンカしちゃったけど思ってることを伝えてみよう」「自分で気持ちを切り替えよう」と、そんなことが出来るようになって欲しいという思いで子どもたちと関わっています。あおぞらっ子たちは、6年間あおぞらでの毎日を頑張っている間にそんなことができるようになっていきます。

このあおぞらの保育指針的なものは、現状、子どもたちの頑張り、指導員の工夫で成り立っているものですが、どんなに人数が多くても、適性の人数だったとしても、変えずに子どもたちに頑張って伝えていきたい大切な部分であると思っています。

（40人以下の実現が大切なことはわかっているけれど）今のあおぞらで40人以下を実現しようとすると、私の力だけではどうにもならないし、助けてもらったとしてもどうにもならないことがきっと山のようにあるのではないかと考えています。（本当に40人以下の実現が大切なことはわかっているけれど）その山の大きさと、日々子どもたちとの関わりを考えたとき、今のあおぞらも悪くないのではないだろうかという思いが少なからずあったこともあり、今回の講義を聞いて、良くないということを改めて突き付けられてしまったので、心の葛藤を収めることが出来なくなってしまいました。

全国各地の学童保育所の指導員さんたちの中には、あおぞらよりもっと人数の多いクラブで勤務されている方がいたり、適性の規模で運営できているクラブで勤務している方がいました。子どもの人数が多くても少なくても、毎日どんな生活スタイルなのか、子どもたちの様子はどうか、子どもたちの生活スタイルに指導員さんたちはどんなことを思っているのか、大規模クラブで勤務する指導員さんは40人以下が実現したときどのような保育をしたいと考えるのか、そんな話が聞けたらもっとよかったですなと思いました。

※提出されたレポートは、当会の広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※〆切は、11月30日（木）です。常勤・専任指導員に手渡し、またはFAX：0564-32-0325までお送りください。